

'86 国際サイクルロードレース大会 開催!! 自転車月間中央大会

JCAでは、ファミリーサイクリング大会を20地区で実施

今年も5月の自転車月間に東京と大阪で国際サイクルロードレースが開催される。コースは昨年同様、大阪は臨海センター前より岸和田市に至る臨海コース、東京は日比谷シティ前をスタート、大井埠頭周回のコース。

また、ロードレースとは別に自転車月間中央大会が、東京は上野恩賜公園で開催されることになっている。

なお、JCAでは昨年と同じく自転車月間期間中に全国20地区において、自転車を通じ家族の健康、体力づくり、交通道徳の高揚を促進するためファミリーサイクリング大会を開催します。

〔国際サイクルロードレース大会〕 (大阪大会)

期日：昭和61年5月18日(日)雨天決行
距離：

- ①男子競技 113.2km
- ②女子競技 56.6km

コース：

臨海センター前より、岸和田市に至る臨海コースを周回、臨海センターゴール。

(東京大会)

期日：昭和61年5月25日(日)雨天決行
距離：

- ①男子競技 131.9km
- ②女子競技 59.9km

コース：

千代田区内幸町の日比谷シティ前をスタート、大井埠頭周回、みなが丘公園ゴール。
※スタート時間は両大会とも12時。

〔自転車月間中央大会〕

日時：昭和61年5月18日(日)小雨決行
午前9時30分～午後1時
場所：上野恩賜公園

大会内容：

①式典

②パレード

警視庁音楽隊、変わり種自転車、警視庁婦人鼓隊、クラシック自転車、交通安全ぬいぐるみ、一輪車、ブラスバンドなど。

③催事

・アトラクション(ステージ)

ドリル演奏、交通安全教室、コンサート、自転車新体操、サイクルマジックなど。

・試乗会コーナー

クラシック自転車、変わり種自転車、自転車ゲーム

・パネル展示コーナー

交通安全、国際ロードレース告知。

・記念写真撮影会コーナー

クラシック自転車展示及びモデルとの記念写真撮影。

・その他

自転車抽選会

〔ファミリーサイクリング大会〕

下記の全国20地区において開催する

(北海道)札幌・帯広(東北)青森・秋田・宮城(関東甲信越)栃木・千葉・神奈川(中部)静岡・愛知・富山(近畿)滋賀・京都(中四国)山口・鳥取・高知(九州)福岡・佐賀・熊本・大分



訃報

安井 謙

当財団の安井謙（やすい・けん）会長（元参院議長、自民党参院議員）が、3月10日午後3時38分、急性心不全のため東京板橋区の日大板橋病院で死去した。享年74才。翌日杉並区の妙法寺で営まれた通夜には、雨の中、当財団をはじめ多数の方々が生列した。

安井会長は、当財団設立以前より今日までサイクリングの普及と発展のため尽くされ、その逝去が惜まれる。

岡山市出身で、京大経済学部卒業、旧満鉄に入社。戦後、東京都知事となった実兄の安井誠一郎氏（故人）の秘書を務めた。昭和25年、参院東京地方区で初当選以来、連続6期当選。



全国ラリー（宮崎）で元気に走る在りし日の安井会長

参院での勤続年数では35年9ヶ月の最長老議員であった。

52年7月、河野謙三氏の後を継いで参院議長となり自民党籍離脱。55年7月までの議長在職中、院の正式機関として参院改革協議会を設置するなど参院の改革に尽した。議長を辞任後は自民党に復党し、同党最高顧問となり、56年11月に勲一等旭日桐花大綬章を受章した。柔道6段。

61年度用

JCA会員募集パンフレット作成



JCAでは昨年4月より賛助会員の募集を行い、先月号で発表しましたとおり1月末現在で6,673名のサイクリストの方々が会員になっております。1月末にはこれらの会員の方々に直接アンケート調査を行い、JCAの行事、会員のメリット等についてのご意見を伺いましたところ、JCAがやっていることを詳しく紹介してほしい、行事日程を早く教えてほしい等の意見がかなり多くありました。

そこでJCAでは昨年に引き続き、61年度用の入会募集パンフレットを作りました。内容は昨年のもよりさらに詳しく、わかりやすく書かれていますので、会員の方はもとより、さらに大きなサイクリングファンの方のためにご活用願いたいと思います。

また、4月号より会員の方々に少しでも早く大会等をお知らせするため直接JCAニュースを各会員へ送りますのでご期待下さい。

スポーツ サイクル トレーニング

二瓶慶一氏がライディング教室を始める

当会の昭和60年度中央指導者研修会で、スポーツサイクルトレーニング（早さのスポーツ工学）という講義内容で講師をしていただいた二瓶慶一氏がライディング教室を始められた。

教室の内容は、自転車のライディングフォームの説明と、ローラー台を使用してのシュミレーション及びカルテの作成などで時間は約半日。8人～10人ぐらいたいローラー台を使い、解説を交えながらその人に合った最適なポジションに直していく。

費用は、30,000円(半日)プラス交通費。受講者数はポジション調整を考えると10名程度がよいが、他の人のを見ながら自分で調整することも可能なので少し多くてもよい。二瓶氏は学生時代に日本記録(1000m T.T)も出しているスプリンター。各支部やショップ、クラブなどで教室を開かれてはいかが。

問い合わせ先：

二瓶スポーツ工学研究所

〒170 東京都豊島区駒込5-4-25

Kフラット 401号

TEL 03-918-1526

人力ヘリコプター浮上せず!!

失敗はしたが、大きな夢を与えてくれた

世界初の浮上をめざし、日大理工学部航空宇宙工学科の内藤研究室（内藤晃専任講師・航空機設計）が開発した人力ヘリコプターの320回目の実験が3月11日、千葉県船橋市の日大体育館で行われた。

カーボンファイバーやバルサ材で作られた長さ20mの二重反転翼を持つ機体の総重量は35キロ。翼の上にある操縦席に学生が乗り、全力でペダルをこぎ、回転翼で起こした風を床面に吹きつけて垂直上昇させる仕組み。

パイロットには2人の自転車部員も加わり代わる代わる挑戦したが、浮上せずじまい。世界記録の夢は、機体の名前、「かげろう」のごとく消え去った。今月で定年を迎える内藤講師にとって、実験はこの日が最後。昨年6月以来トライしてきた学生たちを笑顔でねぎらい、機体に別れを告げた。（朝日新聞より）

ヨーロッパツアー

11日間 4ヶ国めぐり

ワールド・サイクリングツアー委員会（委員長 星野清氏）では、この夏にヨーロッパツアーを計画し現在参加者を募集しています。

期間：7月6日～16日（4カ国）11日間

費用：540,000円（殆んど全食付）

今回のツアーは、西ドイツのフランクフルトを振り出しに、ドイツを語るにふさわしい350kmにおよぶロマンチック街道（一部サイクリング）を走り、おとぎ話からぬけ出たような白く美しい名城ノイシュバンシュタイン城の華麗さを十分に堪能します。

ビールさえあれば人生は楽しいという陽気な町、ミュンヘンにも一泊。

風車とチーズとチューリップで有名なオランダは、サイクリング道路が整備されています。一日ゆっくりとサイクリングを楽しみ、素顔のオランダにふれてみましょう。

北海上空から一路ヒースローへ。バックingham宮殿の衛兵の交替、ウエストミンスター寺院、セントポール寺院、ロンドン塔などなど。ジェントルマンのあなた向けのコースも。

さて、最後は何と言ってもバリ。エッフェル塔、ルーブル美術館、モンマルトルの丘など……花のシャンゼリゼ通りをサイクリングで凱旋門をバックにハイポーズ。

皆さん、全コース観光バスが随走しますのでサイクリングしない方もご参加下さい。

問い合わせ：

〒336 浦和市領家2-3-17

星野 清 TEL 0488-86-2072

Book, Book, Book, Book, Book, Book.

サイクル・ツーリング入門

浅井建爾著 山と溪谷社

定価 1,200円 A5判 156頁

この本では、小難しい技術や知識、自転車の構造などを最小限にとどめて書かれている。というのは、自転車の構造や技術は必ず知っていなければならない、といった性格のものではないからで、知らないよりは知っていた方がよいには決まっているが、それらは経験が解決してくれるという著者の考えからである。だれにでも手軽に出来るのがサイクリングのよさでもあるわけだから、始める前に理屈や理論を並べたところで、実践がこれに伴わなければ何にもならないし、決して良い結果は生まれないという言葉がこの本の内容を紹介している。

理屈や理論ではなく、まず実践すること。これからサイクリングを初める人たちには大いに参考になる本である。

JCAではこの本を(株)山と溪谷社のご好意により、特別な表紙で作った300冊を会員の皆様へ送料共、1冊1,000円でおわけしますので希望の方は現金書留で申し込んで下さい。

'85 ツール・ド・フランス イノー使用車を展示

(自転車文化センター)

'85ツール・ド・フランスはラビクレールチームのベルナル・イノーが優勝したが、その時に使用したマシンが日本に上陸した。

マシンの各部に多くのキズがあり、イノーが死力をつくして戦った後がことがうかがえる。日本でもその模様がテレビでも放映され、ゴール直前のスプリントで落車し鼻の骨を折り血だらけになりながらもゴールしたシーンはサイクリストのみならず大きな感動を呼びました。

シルバーメタリックのフレームに真っ赤なイノー文字が書かれ、また、ステム、シートピラー、チェーンホイールにもB. HINAULTの

文字が彫りこまれています。

このイノーが使用したマシンと栄光のイエロージャージが、東京の自転車文化センターに展示されますので、興味のある方はご覧になってみては。

〈自転車のよさを知ってほしい〉

九州地区の西日本新聞3月15日付に「わかもの特集」として次のような女子大生の記事が掲載されていた。自転車の良さを知ってほしいという内容だが、考える点は沢山ある。皆さんの考えは。

「自転車の良さを知ってほしい」

大場智恵子(22)大学生(久留米市)

私は大学生活の四年間を自転車とともに過ごしてきた。サイクリングクラブに籍を置き、自転車ロードレースにも出場した。アルバイト、帰省、旅行もすべて自転車だった。

実感であるが、街中を通り抜けるには自転車が一番速いし、交通費は浮くし、気分転換、なによりも健康増進に役立つ。こんな素晴らしい乗り物を、なぜ日本人は活用しないのだろうか。

考えてみると、先進国のうち日本だけが自転車に対する考え、姿勢が立ち遅れているように思われる。現に欧米では自転車レースは言うに及ばず、日常生活にも自転車を上手に取り入れて、ファッションにもなっている。

それに比べて、私たち日本人は自転車を軽視しすぎているのではないだろうか。

その素晴らしさを、皆さんにも認識してもらいたいと思う。

おたより待ってます!!

JCAニュースが4月号より内容を充実させて変わります。JCAニュースのご感想、ご要望はもとより、自転車全般に関するご質問、地区のイベント、皆さんの身近の話題など、どしどしお寄せ下さい。あまり形式にこだわらず、自由な気持ちでおたよりください。封書でもハガキでも結構です。